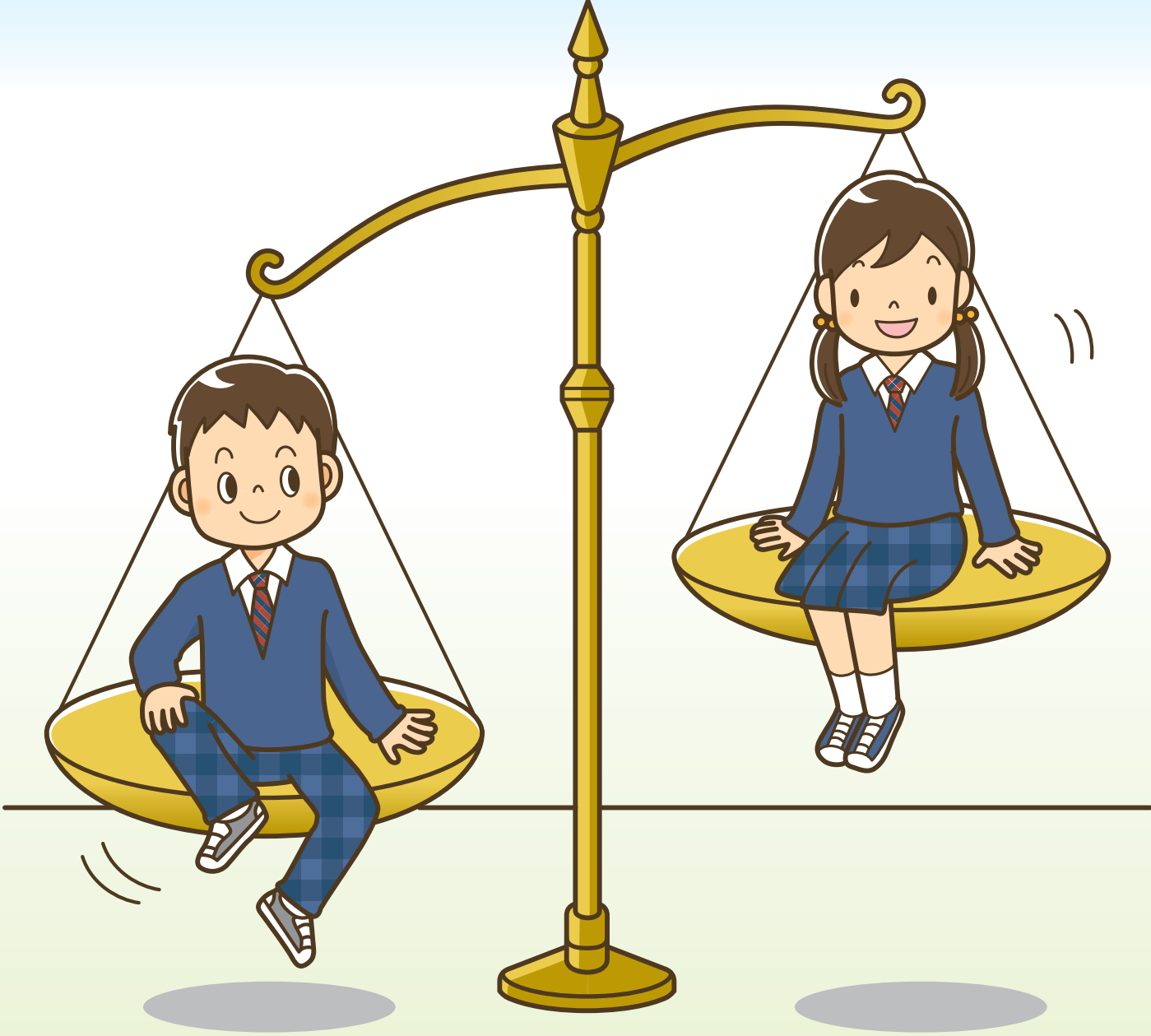
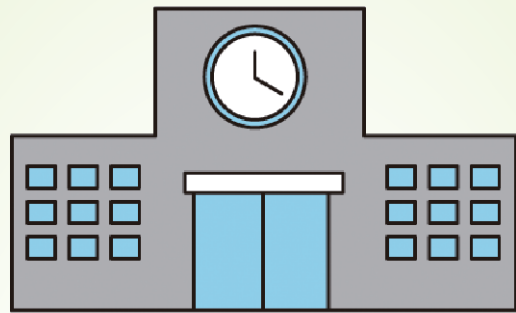


Imagine

～ぼくのルールとわたしのルール～





あいべんがくえん あい まもる
愛弁学園に通う、愛ちゃんと護くん。
二人は1年B組のクラスメイトです。



愛ちゃんは、1年B組の学級委員を務める、真面目でしっかり者。クラスの女友達とおしゃべりするのが大好きで、新聞やニュースを見るのも好き。

護くんは、サッカーが大好きなスポーツマン。いつもクラスのみんなを笑わせてくれるけど、ときどき調子に乗り過ぎてしまうのがたまにキズ。

みなさんは「ルールって何だろう?」と考えたことはありますか?
 世の中には、たくさんのルールがあります。

なぜルールが必要なのか?

どうやってルールを決めたら良いのか?

自分とは違う考えの人に出会ったら、どうしたらいいのか?

愛ちゃんと護くんのある一日の出来事を通して、
 一緒に考えてみましょう。

7:00	登校中 (護くん) 自転車通学がダメな理由とは?
9:00	1時間目 ホームルーム (愛ちゃん・護くん) 多数決で決まったら仕方ない!?
10:30	2~3時間目 生徒会選挙 (護くん) その情報、本当に正しい?
12:30	昼食の時間 (愛ちゃん) 自分の生き方を決める自己決定権!?
15:45	放課後の部活 (護くん) サッカー部のキャプテンを決めるには?
19:00	夜のニュース (愛ちゃん) 「赤ちゃんポスト」の設置に賛成? 反対?
20:30	宿題を終えて (愛ちゃん) SNS利用マナーにご注意を!



自転車通学がダメな理由とは？

今日は、いつもより1時間早く家を出発した護くん。
どうやら、朝の補習授業があるようです。

護くん「眠いなあ…あ、先生！おはようございます！」

先生「おはよう！今日は早いんだね。」

護くん「今日は補習授業なんです。
ところで先生、今日みたいに朝が早い日だけでも、
自転車で通学できないですか…？」

先生「うーん。確かに、うちの学校は自転車通学が禁止されているけど…。
ちなみに護くんは、自転車通学が禁止されている理由を考えたことはあるかな？」

護くん「自転車通学がダメな理由があ…。
ちゃんと考えたことはありませんでした。」

先生「いい機会だから、じっくり考えて、自分の意見をまとめてごらん。」



●色々な立場から、自転車通学について考えてみよう！



保護者

子どもが事故にあわないか、とても心配だわ。
うちの子が誰かにケガをさせるかもしれないし…。

学校には、自転車を置く十分なスペースがないんだ。
それに、通学中の事故も増えるんじゃないかな。



先生

私の家は学校から少し離れたところにあるから、自転車で通えたらうれしいなあ。
塾おそで帰りが遅くなることもあるし…。



家が遠い生徒

賛成の意見と反対の意見を少しくいてみよう。



賛成の意見

- ・家が遠い生徒だけ、自転車通学を許可すればいいんじゃないかな？
- ・通学以外で自転車に乗るのは自由なはずなのに、なんで通学のときだけ自転車に乗っちゃいけないの？
- ・学校の帰りに塾や習い事に行くとき、自転車があると便利なんだけどなあ。

反対の意見

- ・家が遠い生徒にだけ自転車通学を認めるという意見があるけど、それって不公平じゃないかな？
- ・自転車置き場の管理や自転車の整理は大変だと思う。
自転車泥棒どろぼうに入れちゃうかもしれないし、自転車の置き方について生徒同士でトラブルが起こるかもしれないよね。
- ・自転車通学が認められると、やっぱり事故の可能性は高くなると思うなあ。
自分が事故の加害者になることだってあるんだし…。

考えてみよう！

- ★自転車通学について、他にはどんな意見が考えられるでしょうか？いくつかあげてみましょう。
- ★皆さんの学校にも、色々なルールがあると思います。その中から気になるものを取り上げて、そのルールが決められた「理由」や「目的」を考えてみましょう。





多数決で決まったら仕方ない!?

1年B組の1時間目はHR(ホームルーム)。

このクラスでは、次のHRの時間にやりたい活動を多数決で決めています。

1年B組には、女子25人と男子13人がいて、いつも男子と女子がそれぞれ話を合わせ、男子はスポーツをすることを提案し、女子は映画を見ることを提案しています。

でも、毎回、多数派の女子の票が過半数を超え、映画を見ることになります。

今まで5回連続で映画鑑賞が行われましたが、スポーツは一度も行われていません。

そんな中、護くんと愛ちゃんは、それぞれ男子・女子の立場を代表して激しく言い争いをしています。



護くん

そもそも女子の人数が多いんだから、男子が多数決で負けるのは当然だよ！いつも多数決で決めるのは絶対おかしい！



愛ちゃん

民主的に多数決で決めているんだから、おかしいはずないじゃない！やりたくない子の方が多いうスポーツをやることの方がおかしいのよ！

考えてみよう!

- ★ このクラスのHRの活動の決め方は問題ない?問題ある?それはどうしてでしょうか?
- ★ 問題あるとすれば、どのような決め方がいいのでしょうか?

多数決とは…

多数決とは、賛成者の多い意見によって物事を決めることをいいます。

多数決は、より多くの人が希望する形で物事を決めることができるため、民主的で合理性のある方法の一つといえます。

問題点は…

しかし、多数決は万能の方法ではありません。特に注意すべき点は、少数派の意見が採用されないということです。物事の性質によっては、多数決ではなく、他の方法で決めるべきこともたくさんあります。

また、最終的には多数決で決めなければならない場合であっても、できる限り多くの人が納得できるような「修正案」がないのか、十分に話し合う必要があります。

「多数決」=「民主主義」=「万能」というイメージを持ってしまいがちですが、多数決にも多くの問題があることから、多数決ばかりに頼ることは避けるべきです。

ここがポイント!

- ・特定の個人や少数者に不当に不利益を与えたり、個人の判断に任されるべきことについては、多数決で決めるべきではない。
- ・最終的に多数決で決めざるを得ない場合であっても、できる限り多くの人が納得できるような「修正案」がないのか、十分に話し合うべきである。

それでは、今回の問題について考えてみましょう。

例えば、男子の意見もある程度反映させることができる「修正案」はないでしょうか。

さらに

考えてみよう!

次のようなことを多数決で決めるのは問題ないでしょうか?

- ・掃除当番
- ・演劇の主演に嫌がっている人を選ぶこと
- ・クラスの文化祭の出し物
- ・募金をすること
- ・部活動のキャプテン



その情報、本当に正しい？

愛弁学園では、毎年、全生徒による投票で生徒会長が選ばれています。

護くんは、自分たちの学校をもっと良くしたいと思い、生徒会長に立候補しました。



ところが、選挙期間中に、誰が流し始めたのかは分からないものの、「護くんは学校にマンガやゲームを持ってくるような校則違反常習者だ。」という根も葉もないウワサが流されるようになりました。

愛弁学園に通う知己くんは、護くんのウワサを信じてしまい、「校則違反をするような人は生徒会長にふさわしくない！」と思いました。そこで、知己くんは、自身で使っているSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)に「護くんは校則違反ばかりしているし、生徒会長にふさわしくない！」という書き込みを繰り返し行いました。

知己くんが使っているSNSは、愛弁学園のほとんどの生徒が使っていたことから、あっという間に護くんのウワサは学校中に知れ渡ることとなりました。護くん自身も放課後にSNS上の書き込みを見つけましたが、どうすることもできませんでした。

その後、護くんは、根も葉もないウワサに苦しみながらも、なんとか生徒会長選挙で当選しました。

護くんは、SNSに書き込みをされたことにとても腹を立てており、同じようなことが起きないように、学校に対し、ウソのウワサを流した生徒や広めた生徒を処分することができるような校則をつくるように求めました。

学校では、このような校則をつくることについて、賛成する人と反対する人に意見が分かれています。皆さんはどのように考えますか？

賛成(被害防止という観点)

ウソの情報は簡単に広まってしまう。護くんと同じような被害にあう人を出さないためにも、間違った情報を広めた人は処分すべきだ。

反対(表現の自由の保障という観点)

「もし間違っていたら・・・」と思うと、意見や考えを簡単に発信することができなくなってしまう。間違った情報だったとしても、処分すべきではない。

ウソのウワサを広めた生徒を処分することができる校則をつくるべき？

反対(取り締まりの難しさという観点)

「情報が正しいか間違っているか」という判断は難しい。判断をする人の考え次第で勝手に決められてしまうおそれがあるので、校則をつくることには反対だ。

賛成(情報の正確さという観点)

間違った情報があふれると、何が正しくて何が間違っているのかが分からず、正しい判断ができなくなってしまう。間違った情報が無くなるように、校則をつくるべきだ。

考えてみよう！



難しい問題ね。どちらも正しいように思えるけど…。

「間違った情報で被害にあう人を出してはいけない」という点では意見が一致しているね。処分以外に問題を防ぐ方法はあるかな？



先生

情報に接するとき、私たち自身でどのように心がければいいか、考えてみたらどうがしら？





自分の生き方を決める自己決定権!?

1年B組の4時間目は総合の時間（総合的な学習の時間）。

授業の最後に、先生から次回の総合の時間では、「**尊厳死**を法律で認めるべきか」というテーマでディベートを行うと説明がありました。

尊厳死とは

医学的に治療が不可能になった状態で、余命がわずかであると想定される時期に、延命治療をこばんだり、中止したりすることをいいます。

日本では、自己決定権（憲法13条で保障されていると考えられています）の尊重という観点から、議論されるようになりました。

日本では尊厳死が認められる条件やルールが法律で決められていないため、お医者さんが尊厳死を手助けすると、罪に問われる可能性があります。

外国では、本人の自発的な意思により、薬物の投与を受けるなどして、病気の苦しみなどを避けて死に至る「積極的安楽死」を法律で認めている国もあります。

自己決定権とは

個人が自分の生き方や生活の仕方について自由に決定する権利のことをいいます。社会の発達に伴って主張されるようになってきた新しい人権の一つです。

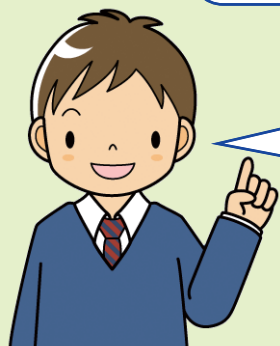
総合の時間の後の昼食中、愛ちゃんはクラスメイトと尊厳死を法律で認めるべきか、話し合うことにしました。

余命がわずかだからといって、自分の死について決める自由を法律で認めてしまっているのかな。



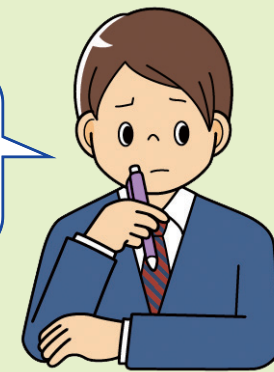
愛ちゃん

法律で認められることで、お医者さんは、尊厳死を希望する人の手助けをしても、責任を問われなくなるから、安心して患者さんの意思を尊重できると思うな。



賛成

法律で定めるということは、多数決で決めるということだよね？人の生死に関わることを多数決で決めていいのかな。



反対

自分自身で人生の最期をどのようなものにするか決めることが権利として認められることで、自己決定権を尊重することができると思うな。



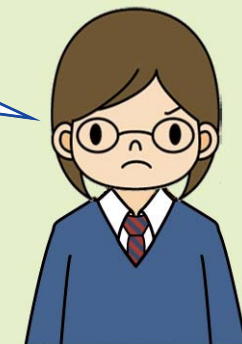
賛成

回復の見込みがないという判断自体が間違っている可能性もあるし医学の進歩によって将来は治るかもしれないよ。お医者さんの判断によって人の命が左右されるのは危険じゃないかな。



反対

家族への負担とかを考えて尊厳死を選んでしまう人もいると思うから、本当に自分の意思といえるかどうかの判断は難しいんじゃないかな。



反対

外国では安楽死も認められている国もあるんだし、日本でも最期のあり方を自分で決める権利を尊重すべきだよ。



賛成

考えてみよう!

- ★尊厳死を法律で認めるべきかについて、ほかにどのような意見があるでしょうか。
- ★外国では、積極的安楽死が認められている国もあります。積極的安楽死と尊厳死にはどのような違いがあるでしょうか。



サッカー部のキャプテンを決めるには？

放課後、護くんは、サッカー部の練習に参加しました。

護くんの通う愛弁学園は、野球部が有名ですが、これまでサッカー部はありませんでした。

半年前、護くんを含むサッカー好きの1年生が、「これからはサッカーの時代だ！」と先生に相談して、新しくサッカー部を立ち上げましたが、まだ正式な監督やコーチはいません。

いよいよ来月には、初めて大会に出場することになりました。護くんたちは、初勝利を目指して練習に励んでいるところです。

ところが、サッカー部ではまだキャプテンが決まっています。

誰かの指示に従うのがちょっと苦手な護くんは、「キャプテンなんていらないよ！」と考えていますが、他のメンバーは色々な意見を持っているようです。

そこで、護くんたちは、「キャプテンを決めた方がいいかどうか」をミーティングで話し合うことになりました。



試合に勝つためには、キャプテンを決めて、キャプテンを中心に部員全員が団結することが必要だと思う！

これまで半年間、キャプテンを決めていなくても、僕たちは仲良く練習できていたんだから、いまさらキャプテンを決めなくてもいいんじゃないかな。



護くん



でも、練習メニューの決め方でケンカになったことも何度もあったよ。今後、新入部員が入部してくると、こういう問題がもっと出てくるかもしれない。

ミーティングの結果、サッカー部では、キャプテンを決めることになりました。護くんも、しぶしぶ賛成するしかありません。

ところが今度は、「誰がキャプテンになるか」で議論になりました。

キャプテンにふさわしいのは誰か、
どんな方法でキャプテンを決めたらよいか、

色々な意見が出てきて、議論がまとまりません。

護くんは、「自分がキャプテンになれば誰かに指示されることもないや…」とこっそり考え始めました。



サッカー部のキャプテンなんだから、サッカーを愛していることがキャプテンの条件だと思う。
僕たち全員、サッカーが大好きなんだから、公平にくじ引きで決めるのがいいと思うよ。

一番上手な人がキャプテンになるべきだと思う。
一番上手な人が練習メニューを指示するなら、誰も文句は言えないはずだよ。
だから、僕がなるよ～！



護くん



部員をまとめる力がある人にキャプテンになってもらわないと、チームワークは高まらないよ。
他の部員から信頼されていることも大切だと思うから、部員全員の選挙で選んだらどうかな。

考えてみよう！

みんなが所属している部活ではキャプテンが決められていると思います。

★なぜキャプテンが必要か、もしキャプテンがいなかったらどうなるか、考えてみましょう。

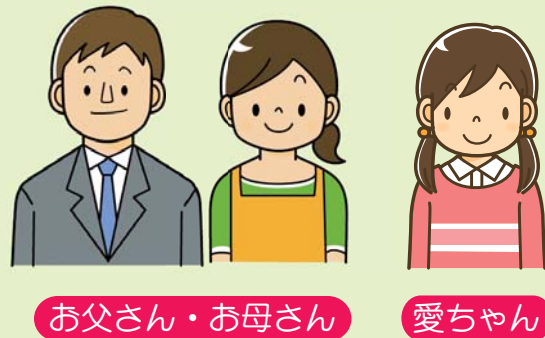
★自分たちで新しくキャプテンを決めることになった場合、どのような人がキャプテンにふさわしいか、キャプテンはどのような方法で決めたらよいか、考えてみましょう。



「赤ちゃんポスト」の設置に賛成？反対？

愛ちゃんは、学校から自宅に帰り、夕食を食べた後、毎週楽しみにしているテレビの討論番組を、家族と一緒に見ることにしました。

さて、今日の討論のテーマは…



今日、出演者の皆さんに討論していただくテーマは、

「赤ちゃんポストを設置することに賛成？反対？」です！

「赤ちゃんポスト」とは、様々な事情で親が育てられなくなった赤ちゃんを受け入れるために設置された窓口のことです。

日本では、熊本県内にある病院に設置されていて、窓口の奥に赤ちゃんを保護する保育器（ベッド）があり、そこに赤ちゃんを置いて扉を閉めると、病院のスタッフがかけつけます。その後、赤ちゃんは、医師の診察を受け、児童相談所に預けられます。親が、赤ちゃんを出産したものの、育てられない事情があり、だれにも相談できない場合を想定して、赤ちゃんを託すことができるようにしたものです。

さて、出演者のみなさんは、このような「赤ちゃんポスト」を設置することに賛成ですか？それとも反対ですか？



賛成

赤ちゃんポストを設置すれば、親が育てられなくなってしまう子どもの命を救うことができます。親が育てられなくても、子どもには生きる権利があると思います。

反対

赤ちゃんポストに入れられた子どもは、親の愛情を知らないで育つことになるのでかわいそうです。子どもは親のもとで育てられるべきだと思います。

赤ちゃんポスト設置
賛成？ 反対？

反対

赤ちゃんポストを設置すると、親が簡単に育児放棄することができるようになってしまいます。親には子どもを育てる義務があると思います。

賛成

子育てが不安で、赤ちゃんがお腹にいるうちに、妊娠中絶をしてしまう親もいます。赤ちゃんポストがあれば、こうした妊娠中絶の数も減ると思います。

考えてみよう！

難しい問題ね。どちらも正しいように思えるけど…。
いったいどうしたらいいの？

「子どもを大事にすべき」という点では意見が一致しているんじゃないかな。

「子どもの人権」の観点から、子どもの本当の幸せのためにはどちらがいいか、考えてみたらどうかしら？





SNS利用マナーにご注意を！

先週の日曜日、愛ちゃんは、同じ部活の知代ちゃん^{ともよ}とケーキバイキングに行きました。知代ちゃんは「わあ、おいしそうなケーキ！」と声^{はす}を弾ませ、写真を何枚も撮っていました。愛ちゃんも知代ちゃんと同じようにケーキをパチリ。おいしいケーキを食べ、おしゃべりも弾み、とても楽しいひとときでした。

今日の宿題をすませた愛ちゃんは、「日曜日に撮ったケーキの写真をSNSにアップしようかなあ」とパソコンを開きました。



すると、愛ちゃんより先に、知代ちゃんがSNS^{とうこう}に投稿していました。

そこには、「愛ちゃんとケーキバイキングに行って、おいしいケーキを食べました☆大きな口で食べる愛ちゃん、かわいかったなあ♪」というコメントと、口を大きく開けてケーキを食べる愛ちゃんの写真が。

そして、愛ちゃんが密かに思いを寄せている士郎くん^{しろう}が、「愛ちゃんって、意外と大食いなんだね(笑)」とコメントしていました。

知代ちゃんの投稿を見た愛ちゃんは、笑いものにされたように感じて涙^{なみだ}が止まりません。

☆「SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)」とは？

インターネット上に情報(記事や写真、動画など)を発信して、友人等と交流ができるサービスのことで、匿名^{とくめい}の場合も、実名の場合もあり、情報を公開する範囲^{はんい}を限定することもできます。ただし、公開範囲を限定しても、公開した友人等を通じて情報が広く伝わっていく危険性があることにも注意が必要です。

憲法では、プライバシー権(憲法13条で保障されていると考えられています)が人権として認められています。



愛ちゃん

大きく口を開けたところを写真に撮ってたなんて知らなかった。勝手に、私の写真を載せるなんてひどい。士郎くんにも笑われて、恥ずかしいわ。知代ちゃんのバカ、バカ。

一方、憲法では、表現の自由(憲法21条)も保障されています。



私は、友達に見せるために写真を撮ったのよ。自分のSNSに投稿して何がいけないの？別に、愛ちゃんのことを笑いものにしようとして、アップしたわけじゃないし…

SNSに、友人の情報が含まれる文章や写真を投稿する場合には、投稿された文章や写真に対して嫌^{いや}な思いをする人がいないか、お互いの立場や気持ちを尊重しあいながら、どうやってその調整を図っていくかを考える必要があります。「相手の立場に立って考えてみる」、これがとても大切です。

特に、SNSでは、直接相手と話をしたり写真を見せたりする場面とは違って、投稿された文章や写真が予想しない範囲まで広がったり、本人が消去したくても多くの人の記録に残ってしまう危険性もあります。友人のことを投稿するときには、投稿された友人がどう思うかをしっかり考えて、SNSを利用しましょう。

考えてみよう!

- ★ 今回のケースで、知代ちゃんはどうすれば愛ちゃんに嫌な思いをさせなくてすんだでしょうか。
- ★ 写真の投稿以外では、どんなことに気をつける必要があるでしょうか。
- ★ SNSはインターネット上で気軽に情報をやりとりできて、便利で楽しいものである一方で、自分の情報が思いもよらない使われ方をしたり、自分の知らない間に拡散される怖さもあります。SNSをはじめとするインターネットを使うときには、自分でよく考えて、上手に付き合っていきましょう。



自転車通学が禁止されている理由なんて、
これまで考えたことなかったなあ。
みんなでHRのルールを決めるにしても、
みんなにも色んな意見があるし…。

世の中にあるルールのひとつひとつも、きっと
いろんな意見を調整して作られているのね。

部活のキャプテンを誰にするかだって、みんなの意見を聞いてると、結局何が正解なのか、簡単にはわからないよ。
ルールを決めることってすごく難しいんだね。



まずは、しっかりと自分の意見を持つことが大事なんじゃないかしら。
赤ちゃんポストの議論でも、私は賛成なのか反対なのか自分の意見をこれから考えていきたいな。
でも、自分とは違う意見の人も必ずいるから、相手の気持ちや考えを想像することも大事なんだと思うわ。



まさに Imagine だね！！

Imagine ～ぼくのルールとわたしのルール～

初版
平成27年8月

第二版
令和3年3月

発行
愛知県弁護士会

企画・編集
愛知県弁護士会 法教育委員会

イラスト
わたなべふみ